

岐阜大学病院 初期研修協力病院 施設紹介



全国の協力病院・施設

- 愛知県**
一宮市立市民病院
総合大雄会病院*
大雄会第一病院
犬山中央病院
がんセンター中央病院
国立病院機構 豊橋医療センター*
一宮西病院*
公立陶生病院
 - 岩手県**
岩手県立磐井病院
岩手県立千蔵病院
 - 滋賀県**
彦根市立病院*
 - 福井県**
杉田玄白記念公立小浜病院*
 - 島根県**
隠岐島前病院
 - 東京都**
聖路加国際病院
 - 鹿児島県**
与論徳洲会病院
- *は、たすき掛けとして選択できる病院

● 研修医専用宿舎



通勤にも便利な病院近郊に、研修医専用宿舎が2棟あります。研修医は家賃無料で住むことができます。

設 備
24時間緊急対応/BSアンテナ/CSアンテナ/クローゼット/カメラ付きインターホン/ガスコンロ/エアコン/照明器具/洗髪洗面化粧台/シャワー付きトイレ/浴室換気乾燥機/駐車場/ミニキッチン/室内洗濯機置場/窓シャッター/シャワー/ペランダ/ティンブルキー/ガスLPG/排水:下水道

● 研修生活をサポートする施設・設備

- ・カフェ・コンビニ**
病院本館にカフェ（タリーズコーヒー）とコンビニ（ローソン）があります。
- ・職員用ラウンジ**
24時間利用可能。飲み物の提供やマッサージチェア等があります。
- ・図書室**
医学部図書館（病院隣接）や、岐阜大学図書館が利用できます。
- ・生協**
病院隣接の生協（医学部）では、各種医学書（邦洋書）の取り寄せができます。また、帰省・旅行チケットも同店で購入できます。
- ・郵便局/ATM**
病院内に、郵便局（病院 1F 南入り口）と ATM（十六銀行・大垣共立銀行・岐阜信用金庫、病院 1F 中央階段裏）があります。
- ・売店 / 理美容室 / レストラン**
病院内には、レストラン・売店・理美容室（共に病院 2F 病棟行エレベーター周辺）があります。

● 医師育成推進センター



医師育成推進センターは、卒前の臨床実習から初期・専門までしっかりサポートをします。各種シミュレーターも豊富で、ゆったりと広い研修医室で研修に取り組むことができます。シャワー室や仮眠室も完備しており、過ごしやすい環境を提供できるよう努めています。

● 令和5年度研修医募集要項

出願資格
次の要件を満たす者とする。
(1)第117回医師国家試験を受験し、マッチングに参加登録する者
(2)マッチング不参加者・アンマッチ又は、平成16年以降の医師免許取得者
*ただし、(2)に関しては、マッチング終了後、定員に達していない場合に募集を行います。

岐阜大学病院プログラム	32名
岐阜大学病院地域医療重点プログラム	3名
岐阜大学病院周産期プログラム	4名

選抜方法
(1)書類審査
(2)面接試験(10～15分間)

採用試験期間及び場所
期日：岐阜大学病院地域医療重点プログラム…………… 6月
岐阜大学病院プログラム、岐阜大学病院周産期プログラム …… 7月下旬～8月上旬
(詳細は、決定後、岐阜大学病院医師育成推進センター HP上でお知らせ)
場所：岐阜大学医学部附属病院(時間及び場所は願書受付後通知します)

出願書類
(1)所定の選抜試験願書(HPからダウンロード：PDF)
又は市販の履歴書に所要事項を記入し、写真(縦4cm×横3.5cm、3ヶ月以内に撮影した同一正面上半身脱帽のもの)を貼付する。*希望プログラム及びコースを希望順に記入すること。
(2)成績証明書

出願方法
(1)出願は郵送または持参とする。
(2)郵送にあたっては、封筒に「医員(研修医)応募書類在中」と朱書き、書留とすること。

出願期間
岐阜大学病院地域医療重点プログラム…………… 4月1日(金)～
岐阜大学病院プログラム、岐阜大学病院周産期プログラム…7月1日(金)～
*採用試験日等については要望がある場合は、医師育成推進センターへご連絡ください。

● アクセス・病院までの交通案内



● 研修医処遇(令和3年度)

身分	非常勤職員
研修手当	基本手当 10,000円/日 研修医手当 60,000円/月 時間外手当・夜間臨床研修医手当 有
勤務時間	8:30～17:15 時間外勤務有(当直4～5回/月)
休暇	有給休暇 1年次10日・2年次11日 年末年始 有
保険	社会保険・厚生年金、 雇用保険あり、労災適用あり
研修医宿舎	有(家賃無料)
医師賠償責任保険	病院において加入、任意で個人加入
健康管理	健康診断 年2回
学外の研修活動	学会・研究会等への参加 可 学会・研究会等への参加費支給 有
その他	アルバイトは禁止

病院見学は随時受付中
交通費補助あり(条件あり)

JR ——— 東海道線「岐阜駅」で下車
名古屋鉄道 — 名鉄本線「名鉄岐阜駅」で下車

JR岐阜駅
岐阜町線 N45系統
C72直行便(学休日運休)
C71清流ライナー(学休日運休)
岐阜大学・病院線C70系統

名鉄岐阜
(神田通のり)
岐阜町線 N45系統
岐阜大学・病院線C70系統

名鉄岐阜
(バスターミナル)
C72直行便(学休日運休)

「岐阜大学病院」で下車
(運賃:330円)

人間性豊かな 医師の育成

あなたの未来を創る環境がここにはあります

令和5年度 臨床研修医募集案内



優れた医療人となるために何が必要なのか

医師育成推進センター長 古家 琢也



皆さんは将来、どのような医師を志していますか。10年後、20年後、どのような医師になっているのでしょうか。その間、どのようなキャリアパスを積めば、皆さんが理想とする医師になれる、または近づけるのでしょうか。

大学病院では、common disease が診れない、1次・2次救急が学べない、あまりやらせてもらえず経験が積めないといった声をよく耳にします。果たして、本当にそうなのでしょうか。例えば、糖尿病で通院している患者さんがいるとします。「調子はどうですか」「今日はなんとなく、身体がだるい。なんとなく、意欲がわかない」といった会話のやり取りをしたとします。皆さんは、ここで何を感じるでしょうか。糖尿病のせいだろうから様子を見ましようか、とするのか、また何かの疾患が隠れている可能性があるから、ちょっと調べてみようと思うのか、実はここに、日常診療の難しさ、奥深さが隠れています。

では、何を検査すればいいのでしょうか。採血を一通りやってから考えるのか、何が起きているのか分からないからとりあえずCTを撮るのか、血液ガスを調べてみるのか、それを決めるのは皆さん自身であり、上級医からの指示を待っている手廻れになるかもしれません。こうした日常の診療においても、患者さんからのちょっとした一言や仕草に気づけるようにトレーニングすることが、初期研修の大きな目的の一つです。ですから、大学病院だから common disease が学べないのではなく、患者さんから学ぶ姿勢があれば、どんな病院で研修しても実は大きな差はないと思います。

確かに、一般病院での研修は大事だと思います。救急対応から飛び込みで夜間受診する患者さん対応は、市中病院での研修のほうが優れているかもしれませんが、common disease を見る機会も多いかもしれません。ですが、ここでちょっと視点を変えてみましょう。患者の訴え・症状から最終診断に至る過程で、どのような鑑別疾患をどのくらい考え、それらを除外するにはどんな検査が必要なのかを、理論に基づいて構築していくには、どのような教育を受けるべきでしょうか。先ほど述べた、将来の自分の理想の医師になるためには必要なことではないでしょうか。

医師になってからの2年は、将来の自分を決めるといっても過言ではありません。きちんと目的意識をもって、初期研修を行っていく必要があります。数ある病院の中で、大学病院ほど指導医・専門医をもった医師が、数多くいる病院はあるのでしょうか。そんな中で経験を積めることは、たとえ患者を診る機会が少なくても、将来の自分に必ず役に立つはず。研究会やカンファレンスを聞いているだけで、疾患毎の治療戦略の構築などを学べます。現在、新しい治療法の開発は目まぐるしく、ガイドラインだけではとても追いつけません。今後もそのような状況がしばらく続くであろうことは想像に難しくありません。時代に乗遅れるのか、それとも日常臨床で疑問に思ったことを解明していく医師になるのか、またガイドラインを変えるような新規の治療法を開発するような医師になろうと思うのか、そのようなリサーチマインドを育てる環境は、大学病院以外ではできないとこだと思います。

現在大学病院では、5つの研修コースがあり、比較的自由に選択可能なコースも用意しています。また、今後研修医の皆さんの意見を取り入れた、コース選択も取り入れるべく改革に着手し始めています。岐阜だけではなく、将来の日本の医療の発展を担っていくような医療人を、岐阜大学は育成していきます。そのためにも、是非大学病院を含めた研修カリキュラムを選択していただきたいと願っております。将来、自分の理想とする医師を目指すために、是非我々と一緒に仕事をしましょう。

日本の真ん中“岐阜”で医師としての第一歩を踏み出しませんか。可能性は∞、個人のニーズに合わせた研修ができます！

岐阜県は日本の真ん中に位置する緑多く自然豊かな県です。そして歴史の舞台にもなった名所があり、交通の便も大変良いです。岐阜大学医学部附属病院はその岐阜県の最後の砦としての役割を担う唯一の大学医学部附属病院です。岐阜県は人口当たりの医師数も全国平均を大きく下回り少なく、活躍できる可能性は無限大です。その環境と熱意ある指導医のもとで医師としての第一歩を踏み出しませんか。

「医師となって過ごす初期臨床研修の2年間は、医師人生を決定する」極めて重要な期間です。特に尊敬する医師に巡り会い、仲間と共に真摯に学び、医師として進むべき道を決めてほしいと思います。そのような可能性のある君たちに合わせた自由度の高いプログラムやユニークな指導医たちがあなたを待っています。特定機能病院である大学病院ならではの研修ができると共に個人のニーズに合わせた様々な連携施設が多数岐阜県内のみならず全国にあります。心技体のそろった総合力のある医師、そしてチーム医療ができる医師、患者さんやその家族と寄り添える医師、リサーチマインドも持った医師、医学生から研修医そして専攻医へと羽ばたくことができるようスタッフ一同サポートします。「百聞は一見に如かず」です。ぜひ当院に見学を訪れて先輩研修医や指導医の生の声を聞いていただき、当院での研修を始めましょう。“Go To GIFU！”

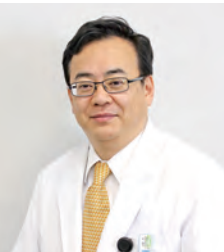


臨床実習・初期臨床研修支援部門長 牛越 博昭

SUPPORT

あなたは10年後どんな医師になりたいですか？

皆様もご存知のように平成30年度より日本専門医機構による新しい専門医制度が開始され数年が経過しました。第3者機関である専門医機構により専門医が認定される立付けですが、多くは関係学会で立案されたプログラムを専門医機構が認定する運営となっています。当大学病院では、各診療科主導により19の基本領域の専門医プログラムすべての領域で基幹施設となっております。加えて基本領域の専門医取得後に目指す subspecialty 専門医の研修プログラムが整備されています。現在、当院のプログラムに今年度より15領域64名が専攻医として登録しており、岐阜県下最大の専門医育成施設です。従いまして当部門では、専門医を志す若手医師にわかりやすく、どの診療科がどのような専門医研修プログラムを準備しているかをお知らせする役割を担っています。希望される専門医に関して診療科のプログラム担当者適切に情報交換ができるように橋渡しします。お気軽にアクセス頂ければ、先生方の今後のキャリアパスについて親身にご相談に乗れるかと思っておりますので、よろしくご活用いただければ幸いです。



専門医研修支援部門長 岩田 尚

人間性豊かな医師の育成

基本の習得から先進医療の経験までバランスよく研修を行います。

大学病院の研修の特色の1つに協力病院とのたすきかけコースがあります。大学病院でのアカデミックでかつ高度な医療の経験、多数の協力病院である市中病院でのプライマリ研修を経験できます。大学病院の中でも救急外来研修は充実してきました。

研修医の声に基づく研修を実現します。

研修医とのヒアリングを行い、救急外来研修を改変し、検査部研修を導入してきました。

研修スケジュールは研修医のニーズを尊重して計画しています。

社会からの求められる役割を自覚し自ら研鑽できる医師を育成します。

自主性をもち、自分のニーズに応じた研修スケジュールが可能です。我々は、岐阜県の地域医療の中核病院、最後の砦としての大学病院の診療にあたる自覚を身につけ、患者中心の医療を実践できるように指導します。

●岐阜大学病院プログラムを受けた先輩研修医からのメッセージ

コース3 Y.M 先生

私はコース3を選択しました。市中病院で初期対応や救急外来の経験も積みたいし、大学病院も研修医で経験したいと思っており、共に満たせるプログラムでした。大学病院は上級医の先生が多く、たくさん声をかけていただけたり、各科の先生が講義をしてくださる研修セミナーもあり、充実した研修生活を送ることができました。

※1年目：中濃厚生病院 2年目：岐阜大学病院

コース4(急性期) K.K 先生

私は岐阜大学病院の急性期コースでの初期研修を終え、今は救急専攻医として高次救命治療センターで研鑽を積んでいます。急性期コースの特徴は急性期診療に携わるために必要なことを学ぶため、複数の協力病院での研修やドクターヘリなどの研修もできる点です。救急医としてのスタートダッシュができるこの上ないチャンスです。ぜひ話を聞きに来てください！

コース1 K.S 先生

私は岐阜大学出身ではありませんが、丁寧に指導してくださる先生が多く、安心して研修生活を送ることができました。また、ローテートする科を自由に組み合わせることができるのも魅力の1つだと思います。岐阜大学以外の大学出身の方、まだ将来が決まってない方にオススメの研修プログラムです。

コース1 N.A 先生

岐阜大学病院の長所は希望すれば研修科を変えられる所です。途中まで自分の専門科が興味でしたが、研修中に大まかに決まってからでも変えられたので、自分の未来を常に考えながら研修をすることができました。また経験値は確かに少ないかもしれませんが、それ以上に1人1人患者さんと向き合い、考え方や基礎を学ぶには十分な研修場所だと思います。

コース1 A.Y 先生

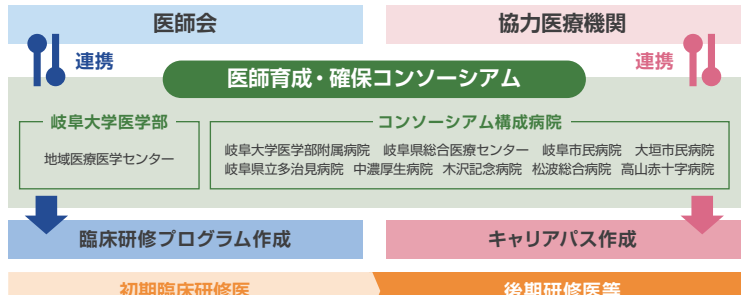
研修医室は広くてきれいです。研修医同士で、採血・ルートの取りあいしたり、縫合結紮など手技の上達に切磋琢磨しています。先輩から、日常診療の分からないことや進路相談など、たくさんアドバイスをいただきました。宿舎は新築で快適で無料です。

専門医取得までのサポート体制 岐阜県医師育成・確保コンソーシアムについて

岐阜大学医学部と県内9構成(=幹事)病院が中心となり、医師育成を通じた地域医療の確保を目指して結成された協議会です。コンソーシアムでは、県内の医療機関での臨床研修と、その後のキャリアアッププログラムを提供し、医師が安心して自分自身の成長を実感できるような医療現場となるよう、施設間での調整を行っています。

WEBサイトはこちら http://www1.gifu-u.ac.jp/~dr_cons/

岐阜県医師育成・確保コンソーシアム



※現在の各診療科等のプログラムについては、医師育成推進センターHPから、専門研修プログラムを参照

岐阜大学医学部附属病院の3つのプログラム

● 基本研修ローテーション例

1年目	必須科目				
	内科6か月	救急3か月	産婦1か月	小児1か月	精神1か月

2年目	必須科目	選択科目		
	地域医療1か月	外科2か月	選択科目9か月	

● 病院が定める必須科目

2か月間	外科系	外科	第1外科	1か月×1科
		第2外科		
		整形外科	0.5か月×2科 または 1か月×1科	
		脳神経外科		
		眼科		
		耳鼻咽喉科		
		形成外科		
皮膚科				
泌尿器科				

研修診療科の変更が原則1か月前まで可能、自由選択期間が9か月



※1 コース2のたすき先に岐阜県総合診療センターと岐阜市民病院は選択できません。

※2 外科系科目：心臓血管外科・消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科

※3 東濃地区(岐阜県立多治見病院・土岐市立総合病院・中津川市市民病院・東濃厚生病院) 飛騨地区(久美愛厚生病院)から選択。協力病院と大学病院のどちらの研修を先に行うか選択可能。

● プログラムの特徴

協力型病院と連携したプライマリ・ケア研修と、専門医の取得を同時に視野に捉えたオーダーメイド構成になっており、豊富な指導医体制と岐阜大学に特徴的なセンター医療システムを活用している点が特長に値する。柔軟な診療科選択や希望変更が可能であり、あらゆる研修ニーズに適応される。

2 岐阜大学病院周産期プログラム



● プログラムの特徴

協力型病院と連携したプライマリ・ケア研修と認定医・専門医の取得を同時に視野に捉えたオーダーメイド構成になっており、豊富な指導医体制とセンター医療システムを活用している点に特色がある。一般研修に加えて、周産期ケアができる小児科医、新生児ケアができる産科医の育成を目指す。

3 岐阜大学病院地域医療重点プログラム



● プログラムの特徴

協力病院と連携したプライマリケア研修と専門医の取得を同時に視野にとらえたオーダーメイド構成になっており、県内のみならず、県外離島の医師少数区域での地域医療研修を12週以上行うことで、地域医療の安定的確保を実施する。また、希望者には海外での短期研修を実施する。

● 臨床研修目標の概要

必修科選択により先ずプライマリ・ケアに関する研修の到達目標をクリアし、指導医評価を行う。次いで希望する診療科を自由選択して専門性の向上を図り、専門研修プログラムに前倒的にリンクさせる。希望者を対象として初年度から専門医の取得を目指した平行型の研修をプロトコールに従い実践する。